



青山 smile 通信

～みんなが笑顔になれる学校づくり～



令和5年11月16日

大津市立青山小学校 生徒指導通信



自己有用感を高めるために



「自己有用感」とは、自分が誰かの役に立っていると思う感覚で、他者から自分の存在を価値として認められることで感じることができ、育まれていきます。「お母さんに必要とされた」「先生に喜んでもらえた」「低学年の子の役に立てた」など、第三者の存在があって初めて実感できるものです。

「自己有用感」が高いと、誰かのよさを認めたり、優しく接したりすることができ、周りの人の役に立ちたいと考えられるようになる傾向があります。また、他者と比較せず、ありのままの自分を受け入れることができ、自分のことを大切にすることができます。

自分自身に肯定的な評価をもっており、自分を大切だと思える感情を「自尊感情」といい、「自己肯定感」「自己存在感」「自己効力感」などがあります。この「自尊感情」を育むために大切なものが「自己有用感」だと言われています。

「親や先生がほめてくれている」と感じている子どもは、自己有用感が高くなります。家庭や学校で子どもと向き合い、頑張りや努力を認めることが大切です。

青山小学校でも、自分のことを大切に思うことができ、チャレンジを恐れない子どもたちの前向きな心を育むため、取組を進めていきます。

あおやまひるやすみコンサート



ちょこボラ



スマイルスクエア



朝のあいさつちょこボラ

